

第30回M式水耕全国大会(名古屋)華やかに開催!



この7月15日～16日「全国M式水耕技術研究会」が名古屋駅前の名鉄グランドホテルで110名の出席のもと開催されました。M式水耕研究会長賞として「あまグリーン水耕みつば部会(柴田哲部会長)」、M式水耕社長賞として「アーバンファーム(白尾格代表)」の2生産者が表彰を受けられました。あまグリーン水耕さんは、水耕30年のキャリアと、なお今電解水などを使用した無農薬栽培へ向けての革新的な取組などのチャレンジ精神が、アーバンさんは3年前、植物工場という新しい生産体系を導入され、幾多の障害を乗り越え経営的に目処をつけられた取組が評価されたものです。

引き続いての基調講演は東京からお越しいただいた(社)緑の安全推進協会農薬相談室長千野義彦氏による「農薬問題の現状と農家のとるべき対応」と題した、農薬問題の背景、今後生産者としてとるべき心構え、行動について話していただきました。一人の心無い行動が地域団体、あるいは県、地方全体の足を引っ張りかねない、したがってその概念の理解をもって、俺だけやってもわからないだろう! いいだろう! の気持ちは捨ててください...との話で、法律の背景ならびに生産者の心構えについて、わかりやすく話していただきました。弊社村井社長よりの近況報告などの後、懇親会に移りました。今回は30回と記念すべき大会であることから東海物産青木社長の計らいで、九重親方(前千代の富士閣)、ジャズシンガーの牛嶋としこさんのお二人が特別ゲストとして参加いただき、いつも以上に華やかな宴となり、一同ご配慮に感謝でした。

翌16日は、石川会長のこの30年を振り返ってのお話、岩崎電気田澤氏から「黄色ランプ」について、ふれあい農園野口氏から「できーくんイチゴ応用報告」、その後、みつば生産者による全国水耕みつば生産者振興会の連絡協議会と盛りだくさん2日間でした。参加者各位ならびに関係者的心から「ありがとうございました」とお礼を申し上げます。(実行委員長 神谷高裕)

